

脳神経外科 専門研修プログラム

日本のひなた宮崎県で
あたたかな脳神経外科医を目指しませんか

募集定員 **3名**
研修期間 **4年**

連携施設名等

	施設名	指導医	年間手術件数
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	竹島 秀雄 教授、他6名	328
連携施設	県立宮崎病院、県立日南病院、都市市郡医師会病院、潤和会記念病院、金丸脳神経外科病院、池田病院		
関連施設	熊本大学附属病院、大分大学附属病院、和田病院		

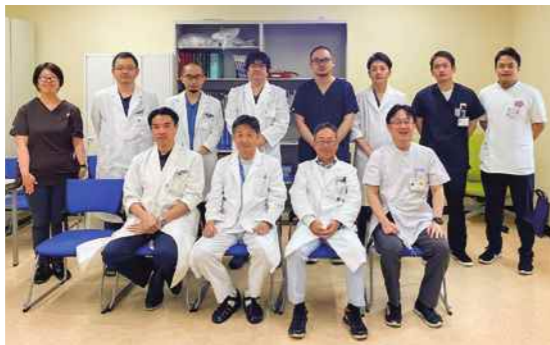
取得可能な専門医資格および技能

日本脳神経外科学会専門医を取得後、サブスペシャリティ専門医として以下の資格が取得可能です。

- 日本脳卒中学会専門医
- 日本脳神経血管内治療学会専門医
- 日本脳卒中の外科学会技術認定医
- 日本神経内視鏡学会技術認定医
- 日本脊髄外科学会専門医
- 日本小児神経外科学会認定医
- 日本癌治療認定医
- 機能的定位脳手術技術認定医

プログラム達成目標

当プログラム開始後4年間で脳腫瘍、脳血管障害、外傷、脊髄脊髄疾患、小児疾患、機能的疾患、感染などの疾患を経験し、最終的に日本脳神経外科学会専門医を取得することを目標とします。手技的には開頭手術や脊髄脊髄手術、脳血管内手術などの助手業務をこなし、訓練状況によっては開頭血腫除去術などを執刀医として手術を完遂できる技量を身につけることを目標とします。同時に脳神経外科専門医として必要な外来業務、病棟業務をこなし他科医師への適切な助言提供が行えることも目標とします。



責任者からのメッセージ

脳神経外科
科長 竹島 秀雄



宮崎大学における脳神経外科専門医の取得を目指すプログラムです。専門医取得のための症例数や診療・手術経験は、このプログラム

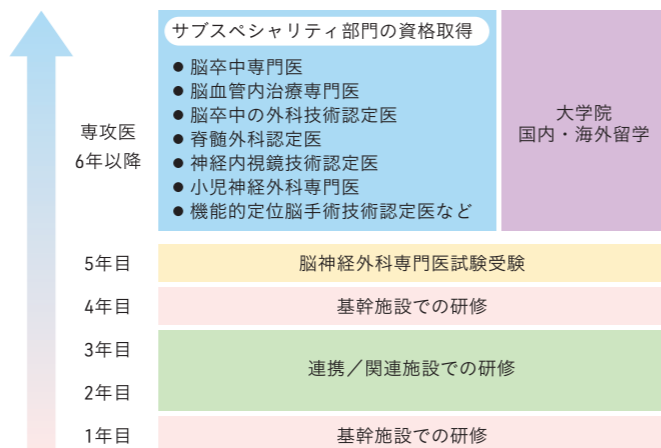
で十分に充足させることができますし、非常に高い合格率を誇っています。これを通過点として、血管内治療学会専門医などのサブスペシャリティの専門医資格や研究・留学などで更に飛躍を目指す若手医師を募集しています。時に厳しいものの恵まれた自然と暖かい人間関係のもとで、自分の可能性を大きく羽ばたかせてみませんか。

プログラムの特徴

本プログラムは宮崎県唯一の脳神経外科専門医を目指すプログラムです。原則的に宮崎県内での連携施設および関連施設のみで完結するコンパクトな研修システムですが、必要に応じて、他大学(熊本大学、大分大学)を関連施設として補充するものです。加えて基幹施設(宮崎大学)では脳腫瘍の遺伝子診断を基にテーラーメイドで治療方針を決定するなど、将来基礎・臨床研究面への橋渡しも考慮しています。手術設備についても手術用顕微鏡以外に内視鏡、外視鏡、ナビゲーションシステム、光線力学的治療装置など最先端機器を導入しその技術習得が可能です。また研修期間中も宮崎大学大学院医学獣医学研究科(博士課程)に社会人学生として在籍し、高度臨床医育成コースにおいて臨床研究に携わることが可能です。

専門医取得までのタイムスケジュール

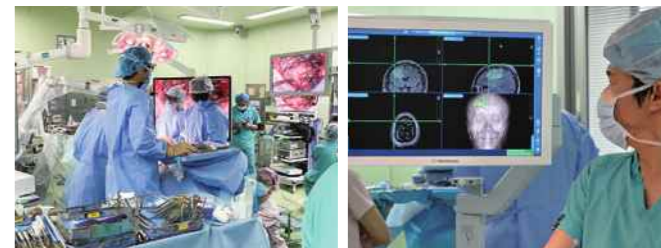
当プログラム開始1年目(卒後3年目)は基幹施設(大学病院)で研修を開始します。2年目、3年目は連携施設もしくは関連施設で1年間ずつ臨床医師として訓練を積み、4年目で基幹施設に戻り研修を継続、5年目(卒後7年目)の夏に脳神経外科専門医試験(筆記および口頭試問)受験となります。脳神経外科専門医資格取得後はサブスペシャリティとして脳血管内治療専門医や脳卒中専門医などを任意で目指して頂きます。



主要症例名と実績数

基幹施設では脳腫瘍、先天性奇形・水頭症、機能的疾患手術や脳血管内手術が大部分を占め、一方で連携・関連施設では脳血管障害、外傷、脊髄脊髄手術、脳血管内手術が多くを占めます

症例	実績数
脳腫瘍手術	133
脳血管障害手術	132
外傷手術	293
先天性奇形・水頭症手術	108
脊髄脊髄手術	206
機能的疾患手術	16
脳血管内手術	243



週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
午前	7:30~	抄読会	回診	カンファ	回診
	8:00~	カンファ	手術	総回診	手術
	8:30~				
	9:30~	病棟	手術	病棟	
	10:00~				病棟
午後	13:00~17:00				

指導医からのメッセージ



医局長 大田 元

私は「神経を扱う外科系」に興味があり、最終的に脳神経外科を選択しました。デリケートな部位を扱う診療科であるため、入局前や入局直後は「果たしてやっていけるのか?」という不安が多かったです。しかし多くの臨床経験を積み、先輩・同僚・後輩・コメディカルスタッフの助けを受けながら、いつの間にか脳神経外科専門医として成長できました。不安があっても相談し解決できる事は多くあります。「自分に脳外科医が務まるか」と迷っている君、安心して脳神経外科学分野に飛び込んで下さい。全力でサポートします。明るい未来が待っています。



病棟医長 松元 文孝

私は2006年に宮崎大学を卒業後、臨床実習の際に脳神経外科で働く先生方に接したことでこの診療科へ進むことを決意しました。顕微鏡手術は実にかつこく見え、この世界で自分も生きたいと思いました。卒後研修後2008年に脳神経外科に入局し、自分の人生が始まったと感じたのをよく覚えています。脳の手術をするというと、すごく難しいことをしていて、自分には無理だと思うかもしれませんが。しかし脳神経外科の大部分の技は理屈を理解し、最善の作戦を立てることの方が重要です。ここに少しの器用さを添えることで、手術は魔法のように完成していきます。私も多くの先輩から魔法のような手術をたくさん見せていただき、今はそれを自分が実践していく番になってきていると感じています。もし皆さんと接する機会があれば共にこの技術を伝承しながら次の時代につなげていけたらと考えます。

先輩からのメッセージ



助教 河野 智樹

脳外科には研修医時代に特に外傷に興味を持ち、脳神経外科を専攻することを決めました。宮崎大学脳神経外科は限られた人数で、宮崎県内の脳腫瘍・脳血管障害・脊髄脊髄・小児・機能分野をカバーする必要があり、仕事量が多いと思います。しかし、卒後8年目ですが執刀医の機会も多く、幅広く経験をさせてもらっています。和気あいあいとした医局と一緒に働きませんか。お待ちしております。



専攻医 有川 壮磨

私は学生の頃より外科に興味があり、研修医時代に脳神経外科医が救急外来で対応している姿に惹かれて脳神経外科の道を選びました。脳神経外科は脳血管障害や脳腫瘍にしろ、画像検査等を駆使して緻密な戦略を立てて手術を行うところが魅力の一つです。また当院では従来の顕微鏡手術、脳血管内治療、内視鏡治療に加えて、令和4年度から外視鏡治療も取り入れており、最先端の技術を経験できる環境があります。人数の多い医局ではないですが、先輩方がしっかりご指導して下さい。屋根式式の教育方針は整っていると思います。確かに忙しいですが、休日祝日は当直医が対応するため毎日呼び出されるということはなく、夏休みが2週間、冬休みが1週間あるなどオンオフはしっかりしています。是非一度見学だけでもお越しください。

ココに注目!

宮崎県下の脳神経外科専門医数は少なく忙しいのは事実ですが、少ないからこそ短期間での「個人症例経験数」は多くなることはメリットです。また夏季休暇(2週間)と冬季休暇(1週間)はきちんと確保しますし、希望者には国内・海外留学も可能です。

博士号や各種専門医・認定医の資格獲得も手厚く援助致します。また外部講師を招いての講演会(懇親会)を頻りに行い人脈作成も可能ですし、全国学会や国際学会への積極的な参加もサポート致します。



お問い合わせ先

T E L : 0985-85-3128
F A X : 0985-84-4571

担当 : 山下 真治

e-mail : miyazakineuros@gmail.com

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/neurosurgery/

脳神経外科 HP

